

事前のお知らせ



『18歳選挙権』を前に中学生啓発講座を開催 ～楽しみながら政治との関わりを考える～

と き 平成27年3月10日(火曜) 午後1時30分～午後3時20分

と ころ 練馬区立豊溪中学校(旭町3-5-10)

10日(火)、豊溪中学校(日下石直美校長 生徒数160人)で、3年生48人を対象に、選挙に関する講演と、グループワークを実施する。これは練馬区選挙管理委員会が、若年層の選挙への関心を高め、投票率向上を目的に実施するもの。

区選挙管理委員会では、中学生を対象とした事業を平成17年度から毎年開催している。今回は、全国で選挙啓発活動を行っているNPO法人YouthCreate(ユースクリエイト)を講師に迎えて実施。グループワークでは、日々の暮らしの中でどう政治と関わっているのかを、自ら考え発表する。18歳選挙権の実現により、3年後に有権者となる生徒たちにいかに選挙に関心を持たせるかが鍵となる。



当日の講座イメージ

【なぜ中学生なのか】

若年層の投票率の低下が社会的な問題となっている。昨年の衆議院議員選挙の投票率は、最も若い20～24歳は29.72%で、全年代を通じて初めて3割を切った。今国会で公職選挙法改正案が成立すれば、来年夏の参院選から選挙権年齢が「18歳以上」へ下がる見通しで、若年層の選挙への関心をどう高めるかが課題となる。

区選管では、『18歳選挙権』を踏まえ、選挙や政治をもっと身近に感じ、興味を持ってもらうきっかけを作ることが重要だと考え、区立豊溪中学校(旭町3丁目)の協力のもと、今回この事業を企画した。

【現状】

現状では子どもや若者が政治と接する場所や機会はほとんど無いのが現状。何らかの接点が増えれば、興味・関心を持ちやすくなると、日頃から全国で選挙啓発活動を行っているNPO法人YouthCreate(ユースクリエイト)に講演を依頼。この事業は、ただ一方的に話を聞くだけでなく、私たちが日々の暮らしの中で、どう政治と関わっているのかを、グループワークを挟みながら、生徒が自ら考え、考えを発信する場とする。これを選挙や政治、生き方を考えるきっかけにしてほしいと期待している。

【講師略歴】

原田 謙介(はらだ けんすけ)氏

東京大学在学時の2008年4月に20代の投票率向上を目指し「学生団体ivote」を結成。

各党国会議員と学生との飲み会を行う「居酒屋ivote」、メールを活用した「ivoteメールプロジェクト」、

全国18箇所で開催「20代の夏政り」等の企画を実施する。2011年6月に引退。2012年3月大学卒業後も、「政治と若者をつなぐ」をコンセプトに活動を続ける。プuzziを購入するほどのサッカー好き。バルカン半島・東欧・南アジア等24ヶ国放浪。2012年3月に大学卒業後も、「政治と若者をつなぐ」をコンセプトに活動を続ける。

【問い合わせ】選挙管理委員会事務局 情報啓発係 電話03-5984-1019(直通)